

第2号様式(第10条関係)

令和 6年 4 月 26 日

沖縄県議会議長 殿

沖縄県議会議員 赤嶺 昇



令和5年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和5年度 政務活動費収支報告書

議員名 赤嶺 昇

1 収入 政務活動費 1,800,000 円

2 支出

(単位:円)

項目	支出額	備考
調査研究費		
研修費		
広聴広報費	1,436,805	議会報告書作成・著作権料、ポスティング
要請陳情等活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	41,094	琉球新報・沖縄タイムス・公明新聞
事務所費	262,123	事務所賃料・水道料金・電気料金
事務費	60,670	固定電話料金・携帯電話・コピー用紙
人件費		
合計	1,800,692	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残余 0 円

経費区分別支出一覧表

経費区分 広聴広報費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
3/29	議会報告書作成 充当割合69.8%(1400567円)の内	2,006,543	その他	900,567
3/15	著作権 琉球新報 69.8%	3,300	69.8/100	2,303
3/27	著作権 沖縄タイムス 69.8%	4,950	69.8/100	3,455
3/29	ポスティング 充当割合69.8%	760,001	69.8/100	530,480
A. 小計				1,436,805
B. 支払証明書計				
広聴広報費 充当合計				1,436,805



領 収 証

No 000953

赤嶺 昇

様

平成 26 年 3 月 29 日

金額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
	¥	2	0	0	6	5	4	3

但し、議会報告書作成代金として 上記の金額を領収致しました

内訳

10%	金額	消費税
8%	金額	消費税



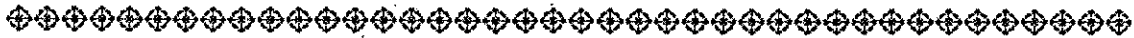
いんさつ、まごころがテーマです。

株式会社 尚生堂

本社 / 〒901-2114 沖縄県浦添市安波菜 4-6-3
TEL (098)876-2232 FAX (098)876-2332

登録番号 T5360001008860

扱者印



支払額 ￥2,006,543

充当割合 69.8% 広報紙充当割合確認票にて算出

充当上限額 ￥1,400,567

充当額 会派分から ￥500,000 議員分から ￥900,567

領収書

請求日 2023年3月15日

沖縄県議会議長 赤嶺昇 様

株式会社 琉球新報
 代表取締役社長 菅久保
 登録番号 T73000108237
 〒900-8525
 沖縄県那覇市泉崎1-10-3

下記の金額正に受領いたしました

合計請求額(税込)	¥3,300
-----------	--------

品目	単価	数量	料金
記事転載料			
①2023年6月24日 3面 「慰霊の日」追悼式／恒久平和確立 力尽くす／赤嶺昇県議会議長 あいさつ(要旨)	3,000	1	3,000
②2024年3月1日 2面 企業局長人事を疑問視／県議会一般質問 公約巡り空転			
10%対象請求額(税抜)計			3,000
10%対象消費税(外税)			300
合計			3,300

備考
著作物転載申請された方
赤嶺昇


統合編集局デジタル企画戦略班
 TEL:098-865-5191


支払額 ¥3,300

充当割合 69.8% 広報紙充当割合確認票にて算出

充当上限額 ¥2,303

充当額 ¥2,303

 領収証		赤嶺昇		登録番号 T3-3600-0101-6287 様 登録番号	
金額		￥ 760001			
但 ホスティング代 138,182部 R6年 3 月 29 日 上記正に領収いたしました					
内 訳					
現金					
小切手	/				
手形	/				
税率	金額 (税抜・税込)				
%	消費税額等				
税率	金額 (税抜・税込)				
%	消費税額等				



株式会社 ポスティング Bee
 代表取締役 親 XXXXXXXXXX
 〒902-0064 沖縄県那覇市寄居3-1-1
 TEL: 098-835-3404
 FAX: 098-835-3445

支払額 ￥760,001

充当割合 69.8% 広報紙充当割合確認票にて算出

充当上限額 ￥530,480

充当額 ￥530,480

広報紙充当可能割合確認票

議員名

赤嶺 昇

広報紙名	紙面割合
赤嶺ノボル 県議会報告書	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $40.5\text{cm} \times 27.3\text{cm} \times 4\text{面} = 4422.6\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 1335.1cm^2 ① $18.5\text{cm} \times 12.4\text{cm} = 229.4\text{cm}^2$ ② $40.5\text{cm} \times 27.3\text{cm} = 1105.7\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (1335.1\text{cm}^2 / 4422.6\text{cm}^2) = 0.6981 \approx 69.8/100$以下



沖縄県議会議長 赤嶺ノボル 県議会報告書



Speaker Okinawa Prefectural Assembly Japan

Noboru Akamine

沖縄県議会第13期最終定例会議長挨拶要旨

今議会は、私どもにとりまして任期最後の定例会となりますので、本日の会議を閉じるに当たり一言挨拶を申し上げます。

令和2年6月、百年に一度と言われる新型コロナウイルス感染症の拡大による行動制限が行われる中、第13期の任期がスタートいたしました。様々な情報が集れ、多くの国や地域で大規模な人的被害や社会経済への影響をもたらし、本県経済や県民生活も大きな痛に巻き込まれていきました。

これまでに経験したことのない激動の時期に、県議会は二元代表制の一翼を担う県民意思を代表する機関として、任期中、16回の定例会に加え、合計10回の臨時会において、新型コロナウイルス感染症対策や各種経済対策等に関する多くの補正予算案や議案審議に取り組み、県民生活を支えてまいりました。

同時に、コロナ禍において大きな打撃を受けた本県の基幹産業である観光関連産業を支えるため「新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光産業の再開に関する条例」を議員提案案として制定するなど、執行部に対して政策提言を行うとともに、感染症のまん延防止の観点から、事故等に対して迅速に対応して意見書等を沖縄県議会に提出し、関係省庁への要請を行うなど、県民の負担にできるだけ積極的に活動を展開してまいりました。

また、県議会としても強く要望していた沖縄振興特別措置法の延長は大きな成果でありました。同法の延長に伴う新たな沖縄振興計画の策定に向け、任期開始当初から「新沖縄振興・公共交通ネットワーク特別委員会」を設け、様々な観点から議論を交わし、令和4年6月「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」が策定されました。

同年は、沖縄の本土復帰50年を迎えた大きな節目の年であり、県議会において「沖縄の諸課題を解決し、真に平和で豊かな沖縄県を目指す本土復帰50年に関する県民憲章」及び「同決議」を全会一致で可決し、岸田首相をはじめ全国版に要請活動を行うなど、県民の思いを強く発信いたしました。

そのほか、県内においては、「復帰50周年記念式典」、「美ら島おきなわ文化祭2022」、「第7回世界のウチナーンチュ大会」、「FIBAワールドカップ」沖縄開催など、朝の二ニュースも多くなりました。中でも「美ら島おきなわ文化祭2022」に併せて即位後初めて沖縄を訪れた天皇皇后両陛下に随従したことは大変印象深く、両陛下の温かいお言葉やお心遣いは多くの県民にとって大きな喜びや励みとなりました。また、「ウチナーンチュ大会」にも参加したデービッド・イゲ米ハワイ州知事をお招きして本会議場でスピーチをいただいたことは、沖縄とハワイ、世界のウチナーンチュを大切にして本会議場での発信も果たした点に大いに意義を感じています。

一方、県議会におきましては、インターネットやSNSを活用した議員情報の発信や高校等出前講座等、開かれた県議会を実現するための議会改革に積極的に取り組んでまいりました。今後もこのような活動を継続することにより、より多くの県民に関わられた沖縄県議会であり続けることを望みます。

コロナ禍を乗り越え、社会経済活動は従来の姿を取り戻しつつありますが、近年の不安定な世界情勢や、電気・ガス・食料品等の物価高騰等の影響を受け、県経済及び県民生活は未だ厳しい状況にあります。また、普天間飛行場をはじめとする米軍基地問題や、沖縄諸島周辺海域における中国公船の領海内侵入、北朝鮮のミサイル発射によるJアラート作動等、県民生活を脅かす外的要因による諸問題、さらに子どもの貧困問題など、県政の課題は山積しておりますが、県民一人一人が幸せを実感でき、真に平和で豊かな沖縄県の実現に努めることが私どもに課せられた重大な責務であることを深く認識し、県民の負担に耐えられるよう最後まで努力をしてみたいと存じます。

なお、今任期を最後に勇退される方々には、本ことに惜別の念を禁じ得ませんが、在任中の各活躍と御功績に対し深甚なる敬意を表するとともに、今後とも御自愛の上、県政発展のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、次期選挙に立候補される方々には、見事当選の栄に浴され、再びこの議場で相みえ、本県の直面する諸課題の解決に向けて御活躍されますよう御祈念申し上げます。

ここに、任期最後の定例会を閉じるに当たり、議員各位の御健康と御多幸を心から念ずるとともに、議員各位と全ての議会事務局職員の御協力と御支援により、大過なく議長としての職務を果たすことができましたことに改めて心から感謝を申し上げます。

本ことにありがとうございます。

沖縄県議会議長 赤嶺 昇

赤嶺昇は、水道料金3割値上げに反対しました。 玉城県政 水道料金3割値上げ!!

【電気・ガス・食料品等の物価高騰に続き、県民生活大打撃】

土木環境常任委員会で水道料金値上げに反対をしましたが、委員会と本会議で玉城県政与党の賛成多数となり、水道料金値上げの議案が可決されました。



記者のメモ

身を切る改革 県に要求

○…国政に挑戦するため県議勇退を表明している赤嶺昇県議会議長。最後の定例会一般質問では、議長席を照屋守之副議長に譲り、質疑者へ回った。水道料金引き上げを巡り、新年度から現在の県総務部長が企業局長に就任することに「県職員の退職金をもらった後、企業局でも退職金をもらうのは二重取りだ」と指摘。「自分たちはいい思いをして、県民に料金引き上げをお願いするのは理解されない」とし、所属する日本維新の会が掲げる「身を切る改革」を執行部にも求めている。

2024年3月13日 沖縄タイムス

議長報酬から各種寄付

能登半島地震で石川県へ議長報酬から500,000円寄付をさせていただきました。

国境なき医師団へ議長報酬から500,000円寄付をさせていただきました。

ハワイ州マウイ島山火事災害へ議長報酬から200,000円寄付をさせていただきました。

記者のメモ

議長報酬2割 義援金に

○…米ハワイ州マウイ島で発生した山火事災害の見舞金をハワイ沖縄連合会のクラリス小橋川会長に贈呈した赤嶺昇県議会議長。議長報酬の約20%に当たる20万円を贈呈し、小橋川氏は「ハワイのウチナーンチュに心を寄せていただき感謝している」と受け取った。県議会では2022年に県系3世のデービッド・イゲ米ハワイ州知事が議場でスピーチしたこともあり「ハワイの皆さんとはこれまでに近く近い存在だと感じている」と赤嶺氏。被災地の日も早い復興を祈っていた。

2023年10月20日 沖縄タイムス



赤嶺ノボル 決意

沖縄県民の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご高配を賜り深く感謝申し上げます。

私は、日本維新の会所属の県議会議員で近く国政を目指す赤嶺ノボルと申します。

令和2年の沖縄県議会議員選挙 浦添選挙区において5期目の負託を頂き、現在は、県議会議長を拝命しております。

私は、昭和42年に「ブラジル・サンパウロ」で生まれ、昭和54年に家族で両親の故郷である沖縄県浦添市に引き揚げてきました。当初は、日本語が話せず、3歳年下の同級生とともに浦添市立牧港小学校で学び、その後、市立港川中学校、県立浦添工業高等学校、日本工学院専門学校を卒業致しました。

卒業後は、コンピュータ会社で働くごく普通のサラリーマンでした。日本に来て一番驚いたことは、日本の教育制度です。

特に小中学校の義務教育制度は、すべての児童生徒が、平等に教育を受けることができるとともに、みんなで同じ学校給食を食べることができるといったシステムです。

外国では必ずしも当たり前ではありません。小さな国でありながら日本が戦後の厳しい状況から経済発展を成し遂げたのは、教育（人財育成）に力を入れたことが大きな要因だと思います。

私は、27歳で妻（昌枝）と結婚し、子育てをしながら浦添市において青年会活動等をする中で地域活動の大切さを学び、浦添市に育てられました。青年会活動を積極的に取り組む中で沖縄県のさまざまな課題がなかなか解決されないこと等、社会情勢に興味を持つようになる一方で、若者の政治への無関心に危機感を抱き、青年の仲間たちと素人の手づくり選挙により29歳で浦添市議に初当選をさせて頂きました。

浦添市議2期7年を経て平成16年に36歳で沖縄県議会に初当選をさせて頂きました。

県議会では、主に児童福祉（子どもの貧困対策）、待機児童解消、学童保育の充実、高齢者福祉の向上、障がい児・者福祉の向上、県立病院の充実、失業率対策、県民所得の向上、地元沖縄企業・下請け企業優先発注・支援育成、土木建築業界の活性化、浦添市へモノレールの延伸等に取り組まれました。

一昨年5月15日沖縄県は、日本に復帰して50年の節目を迎えましたが、52年が経過しても全国の米軍専用施設の70%以上が集中している状況は放置され、米軍基地を起因とするさまざまな事件や事故が派生し続けています。

私は、日本の国益のために日米安全保障を支持する立場ですが、沖縄県民への過重な基地負担を軽減していく必要があると考えています。

特に普天間飛行場は、世界一危険な基地と言われており、米軍のヘリコプターの窓枠が小学校に落下する等、あっては、ならない事故が続いています。

このような異常状態を一刻も早く解決し、宜野湾市民の安心・安全な生活基盤を築くことは、政治の責任です。

普天間飛行場代替施設の辺野古では埋め立てが進み、県と国の訴訟で最高裁判決が出た現状に鑑み、普天間飛行場の一日も早い返還と危険性の除去、跡地利用を最優先に取り組んでまいります。

さらに、浦添市にあるキャンピングカーの早期返還と跡地利用も併せて全力で取り組んでまいります。

沖縄県は、米軍基地問題だけでなく、多くの課題を抱えております。

日本復帰以降、5次にわたる振興計画や高率補助、各種の特別措置により社会資本、産業基盤は着実に整備されてきましたが、一方で、県民所得が全国最下位、子どもの4人に1人が貧困状態で、子どもの貧困率が全国平均の約2倍に及ぶワースト県です。

復帰52年が経過してもこうした課題が解決されないのは、これまでの沖縄の政治が一部の業界団体に手厚い支援をする一方で、子どもや高齢者、県民への投資の欠如があったと言っても過言ではありません。

長年続いてきた現在の沖縄の政治状況と、地方自治の仕組みでは、沖縄の抱える根本的な問題は解決できないと考えております。

さらに、統治権及び財源が国の中枢機関に集中している現在の中央集権体制は、東京一極集中による地方の疲弊と地域間格差の拡大を招き、日本を衰退させる大きな要因になっています。

日本維新の会は、日本の抱える急激な少子高齢化、地方の過疎化に対応するためには、道州制への移行を目指す改革、国事務の道州への移譲、国及び地方公共団体の税財源制度等の見直しを推進することを党の最重要政策に位置付けています。

沖縄県は、これまでの経緯と課題を踏まえると国依存の政策や振興策より、国からの自治権移譲により【沖縄県を単独自治州】とし、県民が自らの責任と主体性を果たすことで沖縄の未来を切り開く必要があると考えます。

沖縄の先人たちが世界各国に移住し確固たる地位を築いたように、今を生きる現役世代が自らの足で立ち、自立（自律）し、沖縄が秘めている可能性を最大限に発揮することで沖縄の発展のみならず、日本全体の発展に大きく寄与できると確信しております。

さて、国会では、政治と金の問題が議論されております。

国民は、所得が思うように上がらず、物価は高騰し、昨年からは始まったインボイス制度できめ細かく税を徴収される中、国会議員は、やりたい放題というのが国民・県民の率直な実感だと思います。

ちなみに、賞金を含む国会議員の歳費は、年間2187万円が基本ペースでそれ以外に調査・研究・広報・滞在費1200万円（月額100万円×12ヵ月）が支給されており、領収書による清算は必要ありません。

国会議員の数も過剰と思われている国民・県民は大勢いると思います。日本維新の会は、国民ニーズを常に意識し、国会においては、国会議員定数三割削減、国会議員報酬三割削減を公約として身を切る改革を推進しています。

さらに、人財への投資を掲げ、大阪府では教育費の無償化等が実現しています。

私は、所得が全国最下位、子どもの貧困率が全国の約2倍である沖縄でこそ教育費の無償化が必要だと考えております。

さらに、日本維新の会は、企業や団体から献金を禁止しており、昨今の政治と金の問題に真正面から取り組んでいる政党であります。

私の拠って立つ地区では、企業や経済界の後ろ盾を持つ自民党とオール沖縄の革新系勢力や組合の後ろ盾を持つ社民党の現職国会議員がおり、大変厳しい戦いを強いられる状況でございます。

私は、日本維新の会の所属ですが、沖縄では日本維新の会は、まだ県民に浸透しているとは言えません。大きな組織の後ろ盾も十分な資金もございませんが、未来の沖縄を担う子どもたちのために、市民主体の手作りの活動で取り組み、企業や団体等のしがらみが無い、県民・国民目線の政治を全う致します。

選挙において当選することは、大切なことですが、当選さえすれば良いとは思いません。

当選をして託された議席で何を成し遂げるかが大事だと思っております。

現在の沖縄の政治は、残念ながら、沖縄のさまざまな課題を解決できておりません。私は、復帰50年を経て次の100年に向けて結果を出すことに代わる責任ある政治を貫いていく決意です。

私赤嶺ノボルは、馴れ合いで政治を致しません。馴れ合いで政治家を誕生させることは、究極の税金の無駄遣いだと思っております。

皆様にご賛同頂き、共に沖縄・日本の未来と発展のためにご協力を頂けるのであれば、私赤嶺ノボルの政治活動に對しまして厳しい眼で見守って頂きますようお願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、私の決意と致します。

赤嶺ノボルの主要政策

身を切る改革 (徹底した透明化)

- 1 国会議員報酬3割カット
- 2 国会議員定数3割カット
- 3 企業からの献金禁止
- 4 組合等からの献金禁止
- 5 旧文書文通費の領収書公開、不使用時は返金

人財への投資

- 1 沖縄の教育費の無償化
- 2 子ども・子育てへの徹底投資
- 3 若者への投資と有効活用
- 4 高齢者人財の有効活用
- 5 女性人財の有効活用と格差解消

統治機構改革

- 1 中央集権の限界を突破する統治機構改革
- 2 沖縄県を単独自治州
- 3 道州制の推進

成長戦略

- 1 日本大改革に向けた税制改革
- 2 消費税減税
- 3 社会保障制度改革・規制改革

皆様の積極的なご提言をお待ち致しております。又、行政相談等お困りのときは、お気軽にご連絡下さい。ごちから伺わせていただきます。(内訳資料)



事務所 〒901-2114 沖縄県浦添市安波菜3丁目5番2号
TEL・FAX 098-875-3374

携帯 090-2586-4722
MAIL noborunoboru777@yahoo.co.jp

沖縄県議会議長 赤嶺昇 令和5年沖縄全戦没者追悼式 式辞

令和5年6月23日

本日ここに、岸田文雄内閣総理大臣をはじめ、衆参両院議長、御来賓の御臨席と、御遺族の御参列を賜り、全ての犠牲者の御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げますとともに、御遺族の皆様へ心から哀惜の意を表します。

太平洋戦争末期、ここ沖縄の地では一般住民を巻き込んだ凄惨な地上戦が行われました。鉄の暴風と呼ばれた激しい空襲や艦砲射撃は、昼夜を問わず雨のように降り注ぎ、逃げ惑う民を襲い、戦闘地域と住民が身を隠す避難地域の区別はなくなりました。沖縄戦の実相は、人間の酷さの極致と言われ、今、語り継ぐことの難しさに直面しています。

戦場に駆り出された沖縄の若者たちは、自らが授かった教育を信じ、明るく朗らかな日常にすぐに戻ることができることを疑わず、沖縄戦に組み込まれていく日々を過ごしました。このような混乱の中で、自らに課された義務を成し遂げるため、個々には何の怨恨もなき国家間の戦争の犠牲となり、尊い命が失われたことは、人類最大の不幸であります。

78年前の今日、沖縄戦は組織的な戦いを終えたとき、この地に残された人々は、27年に及ぶアメリカ世、そして昨年50周年を迎えた本土復帰を経た時代を生き抜くこととなります。歌と踊りをこよなく愛する琉球文化からは華々しさが消え、焦土と化した島を歩く人々の表情からは生気が消えました。人間が人間でなくなる世界を体験した生き残りとして、あらゆる心身の病に耐え、支え合いながら、まだ見ぬ沖縄の未来を懸命に育んでいきました。

この季節に降る雨は、沖縄の青く美しい海と色鮮やかな草花にとって重要な恵みです。平和な時も、争いの時も等しく降り注ぐその雨は、そこに生きる人々の記憶となります。

雨が降ると電話が鳴る。

今日は、雨が降っているね。

沖縄戦の生存者は、雨が降ると当時を思い出し、自分が生き残ったことの意味に思いを致し、心を寄せる語り部に語りかけます。

同時に、恵みの雨は、変わり果てた大地を再生するように、母の記憶を思い起こさせます。一本の芭蕉の木が布となり紙となるように、

沖縄の恵みから紡ぐものは、世界を照らす平和の光となることを自覚し、その土地に生きた人々の証を受け継いでいかなければなりません。

世界は今、ウクライナ戦争による核の脅威が駆け巡り、地上戦もまた同様に現実のものとなっている中で、凄惨な地上戦を生きた私たちが沖縄県民は、同じことが世界で繰り返されることの悲劇を、誰よりも知っています。この混沌とした時代にあって、ここ沖縄の地から、戦争のない平和な時代を祈ることがまやかしにならぬように、慈愛の本質は智慧であることを自覚し、未来の子どもたちへ紡ぐ土地の記憶が光の霊となって世界平和を照らす道しるべとなるよう、この地に生かされている意味を自らに問い続けることが真の慰霊に繋がるものと思います。

結びに、本日、心ならずもこの式典に参列できなかった皆様へ平和への想いと共に、改めて、戦争のない世界的な恒久平和の確立に力の限り尽くすことを、ここに固くお誓い申し上げます、式辞といたします。




恒久平和確立力尽くす

赤嶺昇県議長
あきつ 要旨

恒久平和を確立し、戦争のない世界を実現するために、我々が何をすべきか、何をしなければならないかを考える必要がある。沖縄戦の経験から、戦争の悲惨さ、犠牲者の数、そして平和の重要性を改めて認識し、平和を築くための努力を怠らなければならない。沖縄県民は、平和を愛する文化を持つ人々であり、平和な世界を実現するために、我々が何をすべきか、何をしなければならないかを考える必要がある。

2023年6月24日 琉球新報



生かされる意味問う

赤嶺昇氏
県議会議長

戦争の犠牲者となった人々の魂を慰め、平和を築くために、我々が何をすべきか、何をしなければならないかを考える必要がある。沖縄戦の経験から、戦争の悲惨さ、犠牲者の数、そして平和の重要性を改めて認識し、平和を築くための努力を怠らなければならない。沖縄県民は、平和を愛する文化を持つ人々であり、平和な世界を実現するために、我々が何をすべきか、何をしなければならないかを考える必要がある。

2023年6月24日 沖縄タイムス

ハワイ沖縄フェスティバル

沖縄県議会議長として2023年9月2日
第41回ハワイ沖縄フェスティバルへ参加。
デービット・イク元ハワイ州知事、ジョシュグリーン現ハワイ州知事と
今後の沖縄とハワイの将来に向けて意見交換を致しました。



R59.2 デービット・イク元ハワイ州知事との意見交換会

ブラジル沖縄県人移民115周年記念式典


沖縄県議会議員海外派遣団長として2023年7月30日～8月14日、
沖縄県人移民115周年の節目を迎えたブラジルとアルゼンチンを訪問致しました。
私は、1967年にブラジルサンパウロで生まれました。
この度は、44年ぶりのブラジル訪問でブラジル移民の県系人に
感謝状を授与することができました。



祝 ブラジル沖縄県人移民115周年記念式典 第九回
沖縄県議会派遣議員団
Okinawa Prefectural Assembly
2023年7月31日(土) 8月14日(月)

中国の呉江浩駐日大使へ中国海警局の艦船による石垣市尖閣諸島周辺で領海侵入と弾道ミサイルの問題で直接抗議致しました。

10月5日、中国の呉江浩駐日大使の議長表敬で面談をさせて頂きました。
沖縄と中国と今後の友好交流について大使から提案を頂きました。平和的な友好交流については、異論はなく、素晴らしいことだとお伝えしました。
一方で、中国海警局の艦船が石垣市の尖閣諸島周辺で領海侵入を繰り返している問題と中国が昨年8月の軍事演習で、波照間島周辺の日本のEEZ(排他的経済水域)に弾道ミサイルを撃ち込んだ問題に対して平和的な外交を求める「要望書」抗議文をお渡し致しました。弾道ミサイル発射に関しては「このような行動は偶発的な軍事衝突を生む」として、平和的な外交交渉の必要性を強調した。いずれも県議会と同内容の決議が可決されています。
さらに、中国が尖閣諸島を自国領のように表示している新地図を公表した問題も取り上げ、口頭で抗議の意を伝え致しました。



赤嶺昇 令和6年第1回沖縄県議会(定例会)
2月29日 一般質問



赤嶺昇 議員 教職員の正規雇用の状況についてお伺いいたします。

半瀬満 教育長 お答えします。沖縄県の公立小中学校における教員の正規率は、令和5年5月1日時点で80.3%となっております。

赤嶺昇 議員 全国との比較を教えてください。
半瀬満 教育長 令和5年度においては、全国平均は91.9%となっております。

赤嶺昇 議員 正規雇用が沖縄県が80.3、全国平均が91.9、約10%以上です。この格差を、教育長はどのように考えていますか。

半瀬満 教育長 これまで改善計画等を策定し取り組んでまいりましたが、依然として大きな開きがございます。これは課題だというふうに考えております。

赤嶺昇 議員 教員の病気休職者の現状についてお伺いいたします。

半瀬満 教育長 令和4年度における教育職員の病気休職者数は381人であり、在職者に占める割合は2.41%となっております。このうち精神疾患による病気休職者数は229人であり、在職者に占める割合は1.45%となっております。

赤嶺昇 議員 全国との比較について御説明ください。

半瀬満 教育長 令和4年度における教職員の病気休職者の在職者に占める割合でございますが、本県は1.45%ですが、全国は0.71%となっております。

赤嶺昇 議員 沖縄県は病気休職者数は2倍ということでも理解していいですか。

半瀬満 教育長 病気休職者に占める精神疾患については、そのような状況になっております。

赤嶺昇 議員 教育委員会として責任を感じていますか。

半瀬満 教育長 正規率がなかなか改善されない状況、また、精神疾患による病気休職者数の在職者に占める比率が全国で最も高いことについては、大きな課題というふうに考えております。

赤嶺昇 議員 教育長も責任を持って改善に急いで対応してもらおうように要望いたします。

続いて、不登校児童生徒の課題についてお伺いいたします。

半瀬満 教育長 沖縄県の国公私立小中学校の不登校児童生徒数は6853人となっております。

赤嶺昇 議員 全国との比較を教えてください。

半瀬満 教育長 1000人当たりの不登校児童生徒数の状況であります。本県においては小学校25.3人、全国は17人です。中学校においては本県63.9人、全国は59.8人。高校につきましては本県25.5人、全国は20.4人となっております。

赤嶺昇 議員 今ありましたように、不登校生徒も小・中・高とも沖縄県がものだけですね。このあたりもこれ教育委員会として大きな課題だと思っておりますので、早急に改善を求めたいと思っております。

本竹秀光 病院事業局長 水道料金3割値上げについてお伺いいたします。

松田了 企業局長 近年、施設更新コストが大幅に増加するとともに、電気料金の急激な上昇などにより経営状況が悪化し、このままでは令和7年度の企業債償還金を確保できなくなるおそれがあることから、料金改定を行ったものでございます。

赤嶺昇 議員 今回の知事の提案説明要旨に、企業局の経営の合理化とかおっしゃってありますが、なぜこの水道事業を扱う企業局長はずっと天下りされてるのか。

玉城デニー 知事 水道事業の経営を担う管理者としての責務を遂行し得る能力と知識を有する方から人選し任命をしているものであります。

赤嶺昇 議員 企業局で働いている職員は、優秀な方々がおります。生え抜きの企業局長が誕生しないのは、能力を有しないということでも理解していいんですか。

宮城力 総務部長 企業局長については、歴代の部長が就任しております。それぞれ就任時の実務経験が長いという点も、その時々々の知事の御判断に反映されているのかなというところでございます。

赤嶺昇 議員 企業局長って退職金ありますか。幾らですか。

松田了 企業局長 企業局長の退職手当の額は、2年間に職した場合は、518万4000円となります。

赤嶺昇 議員 知事、2年間で退職金500万ってというのは、私は異常だと思えますよ。ちなみに今度、新しく企業局長に就任するのは、宮城部長です。今度退職されるときに、部長、今度は県の職員として、部長として、退職金幾らもらいますか。

宮城力 総務部長 それなりの金額の退職金が支給されるのかなというふうに考えております。

赤嶺昇 議員 数字で言うと大体幾らぐらいですか。

宮城力 総務部長 たしか2000万円を超える金額になろうかと思っております。
赤嶺昇 議員 部長、2000万円退職金もらって、これから2年間企業局長に行って、2年間で500万もたらって、退職金三重取りじゃないですか。
宮城力 総務部長 二重取りという御意見でございますが、様々な御意見があるかとは思っています。

赤嶺昇 議員 12月議会で水道料金3割値上げ、与党で24対23で可決しましたよ。命に関わる水ですよ。県民には3割も水道料金を値上げをして、企業局長はずっと天下りが来て、そして2年間で500万退職金をもらって、県民納得できませんよ。いかがですか。

宮城力 総務部長 新たに地方公営企業法に定める公営企業管理者として4月1日以降に任命されるというところで、それぞれの制度にのっとった対応がなされるというふうに考えております。

赤嶺昇 議員 知事は、誰一人取り残さないで言ってますけれども、退職金三重取りして、県民は思いませんよ。自分たちはいい思いをしておきながら、県民には水道料金3割も値上げ頼むなど、これ理解してくれって言うても誰も理解できませんよ。いかがですか。
これは今度の県議選挙の争点だと思っておりますよ。

玉城デニー 知事 公務員として長く勤められてきた方々が退職する際の退職金、そして地方公営企業法において、その長として指名を受けてこの企業局を運営していくという責任、それはそれぞれの責任においての役割に対する規定上の報酬であるというように御理解をいただければと思います。

赤嶺昇 議員 責任、責任って言いますが、結果的に3割値上げになったじゃないですか。これが結果ですよ。これが問題だと僕は思っています。これは、今度の県議選挙の争点だと思っております。続いて辺野古基金についてお伺いいたします。

溜 政仁 知事公室長 同基金は、令和5年12月31日現在で7億8700万円を超す寄附金額となっております。県内外から多くの寄附金が寄せられているものと認識しております。

赤嶺昇 議員 辺野古基金で7億8000万も集まったんですけれども、これ残り今幾らになってますか。

溜 政仁 知事公室長 寄附金額が先ほど申しました7億8700万で、支出済額が7億6700万ですので、残額が約2000万円ということだと承知しております。

赤嶺昇 議員 7億6000万もどう使ったのかというのは、私は少なからずこれは、寄附された方々を知る権利がありますよ。辺野古を造らせないという思いで寄附されたんですけれども、辺野古造られてますよ。説明責任があることだということを指摘しておきたいと思っております。続いて辺野古に新しい基地を造らせない実現率をお聞かせください。

溜 政仁 知事公室長 現在、辺野古移設に関する取組についての実現率というものをパーセントで示すということは非常に難しいと考えております。

赤嶺昇 議員 休憩いたします。これは答弁になっていませんよ。取組をしているということを聞いてるんじゃないですか。実現率は何%か。知事の政策集に、今室長が答弁したように、玉城知事は1期目の公約に実現率98.6パーって書いてるんです。これ、100パーですよ。ほほ。なのに辺野古は造られてるじゃないですか。98.6パーの実現率だったら辺野古は止まってしまうよ。

照屋守之 副議長 再開いたします。

答弁調整のため暫時休憩いたします。

午前10時55分休憩

午後3時20分再開

照屋守之 副議長 再開いたします。

休憩前の赤嶺昇議員の質問に対する答弁を願います。

玉城知事

玉城デニー 知事 先ほど質問いただきました、辺野古新基地阻止の実現率についてお答えいたします。

辺野古に新しい基地を造らせない実現率については、数字で表すことが難しいと考えております。なお、私の政策集で使用している実現率等の表現については、見直し等を含め今後検討してまいります。

企業局長人事を疑問視

県議会一般質問 公約巡り空転

県議会(赤嶺昇議員) 2月定例会は20日、一般質問3日目の質疑が行われた。維新、無所属の会に所属する、赤嶺昇議員が質問に立ち、知事公室の部長を務めた幹部職員が定年退職後に県企業局の局長を務める人事が慣例化していることを疑問視し、企業局長退職後も退職金が支給されることとして、私は退職金の二重取りだと感じ、批判した。玉城デニー知事は「長く公務員を務めたことへの退職金と企業局長としての責任、それぞれの役割に対する規定上の報酬である」と理解を頂きたいと述べた。(梅田正寛、高橋寛帆)

半瀬満教育長は、県内公立小中学校の教職員の2023年5月1日時点の正規雇用割合に占める正規雇用の割合は、全国平均91.9%を11.6%下回る80.3%だったと明らかにした。教育庁は24年度から採用者数を増やし、正規率90%を目標とする。赤嶺氏への答弁は、議長が一般質問に立つのは初めて。知事公約の「辺野古新基地建設阻止」の公約達成率に関する答弁に疑義を唱え、議会は5時間以上、質問者2人を残して延会となった。